

# 当社のSDGs宣言

## 手塚産業(木古内)

【函館】手塚産業(本社・木古内)はこのほど、SDGs(持続可能な開発目標)宣言をした。ICTの活用や地域貢献活動の充実などを目標に盛り込み、人口減少の中、担い手確保に向けた認知度向上を目指す。

1962年の設立。役 取り組みには①ICTを職員30人体制で土木を事業の柱とし、産業廃棄物な労働環境づくり②環境処分業など多角経営を進める。北洋銀行の支援を受け、60周年の節目となる4月21日付で宣言した。

ICTは以前から特に力を入れている分野。I

CT建機を導入する一方で、従来機にもICT機能を付加するレトロフィットキットの導入も推し進める。「機器の性能が向上し、使う側も研修を積み重ねてスキルが上が

っている。施工品質が高まり労働時間短縮につながっている」と手塚紀彰

専務は話す。環境負担軽減に向けては、多くの建機を使用するだけに「無駄のない運転や省エネ機械の導入が欠かせない」と見る。CO<sub>2</sub>排出量を可視化するサービスや、個々の建機の稼働状況や状態を把握

できるクラウドシステムを導入し、ゼロカーボンを目指す。地域貢献活動は「役場などからの要望を待たずに率先して動いている」と手塚則博社長。最近では沿岸部の津波避難路が安全に通行できるよう環境整備に励み、町から感謝を受けた。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### ICT活用や地域貢献活動を充実

こうした経営方針や活動には「地元あつての会社。地域の皆さんに認められたい」との思いがある。SDGs宣言を機に、対外的なアピールに力を入れ、地元へ貢献できる働きがいのある会社として若手人材の獲得につなげる考えだ。